

●2023年日本平和大会まであと3週間――最後まで参加・視聴者の輪を広げ、
大軍拡・「戦争国家」づくり反対の大運動のステップの大会として成功させよう
～現状の参加者・視聴者の到達を大きく打開することが求められています～

10月18日 2023年日本平和大会 in 鹿児島実行委員会事務局団体
(全労連、安保破棄中央実行委員会、日本平和委員会)

「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2023年日本平和大会 in 鹿児島」まで、あと3週間となりました。全国で平和大会に向け、大軍拡・「戦争国家」づくりストップ！日米軍事同盟強化反対の世論と運動を盛り上げようと、平和大会学習パンフレットを活用した学習運動や、基地・演習強化、自衛隊員募集への自治体協力反対の運動などが広がっています。

今年の大会は何よりも、日本とアジア・太平洋での戦争の危険を高める岸田大軍拡・「戦争国家」づくり反対の世論と運動を大きく高める大会とすることが求められています。大軍拡2年目の来年度予算概算要求で、軍事費は今年度比1・1兆円増の7・7兆円超に拡大され、アメリカと共に他国を先制攻撃する態勢を強める長射程ミサイルの開発・配備や、「統合防空ミサイル防衛」態勢強化のために2兆円超が注がれようとしています。そして、全国の基地の「強靱化」や、弾薬庫の増設、日米のオスプレイ8機が展開する九州・沖縄・南西諸島を戦場に想定した大規模軍事演習の推進など、沖縄・南西諸島、全国を戦場にしかねない、異常な「戦争国家」づくりがおしすすめられようとしています。この動きをストップさせる大会にしていかなければなりません。

そのためにも、九州、全国からこの情勢と大会の目的にふさわしい多数の代表を鹿児島に送り出し、また、全国で大規模に大会視聴者を組織することが求められています。しかし、残念ながら、全国の参加組織、視聴者組織状況は、それにふさわしいものになっていないのが現状です。残された3週間で、この状況を打開する取り組みの強化を呼びかけるものです。

現在、全国各地では、埼玉から50人が参加するのをはじめ、熊本、宮崎からもバス1台で40人めざして参加者組織の努力が進められています。京都の参加者数は2019年沖縄大会を超えました。鹿児島でも全国の仲間をたくさん参加者で迎えようと、1日250人以上の参加をめざしとりにくんでいます。また、特に遠い地域では、オンラインでの大会視聴者の輪を広げようと、努力が広がっています。静岡で24カ所、大阪で18カ所、長野で10カ所の視聴会場がめざされています。

しかし、全国的には、九州を除く各都道府県であと100人、地元・鹿児島を除く九州であと100人規模でリアル参加者を増やし、また、オンライン参加者の輪を少なくとも1日500人規模で増やすことが、組織的・財政的に求められる到達になっています。全国・九州でリアル参加者の輪とオンライン参加者の輪を大きく広げるために最後まで努力していただくと共に、オンライン視聴は1人1000円で誰でもどこからでも視聴できるものですので、各団体の役員や構成員、各地域の活動家の1人ひとり参加を呼びかけ、その輪を最後まで広げていただきたいと思います。

参加者、視聴者の輪を広げぬき、大軍拡・「戦争国家」づくり反対運動を大きく発展させる大会にしていきましょう。そのために、共に頑張りましょう。